

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024 年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|----|--|----|---------------|-----|---------|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | 2 | | | 子ども達が大きい為、より伸び伸びできるスペースがあっても良かった。 個室等を使い、工夫出来ている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 2 | | | 職員の減員があった場合は、児童の「今、して欲しい」に応えられない時や活動に制限する事もある。 基本的に十分な人数はいる。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 5 | | 2 | | 赤、青、黄色の部屋に分かれている為、利用者が分かりやすいようになっている。 |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 5 | 2 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | | | 保護者の意見はすぐに動いている。しかし、もう少し事業所側も意見して良いのでは。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 1 | | | 自分自身確認する必要がある。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | | 3 | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | 1 | | | |
| 適切 な支 援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | | 上司と共に会議等で話し合いがよく出来ている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | | | | 目に見える形になっている。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | | | 週担当を中心に話し合いを含め、チームで行っている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 1 | | | 平日の遊びは固定していると思うこともある。 活動案をそれぞれ提出している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 4 | | 3 | | 休日には外出活動を行い、様々な体験をできる様、取り組んでいる。 活動案を立てる時から、しっかり課題は決められている。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|---|----|---------------|-----|---------|--|
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | | | 伝達事項等はしっかり情報共有出来ている。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 2 | | | 気付いたこと等を情報共有している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | | | 個別支援を記入して、次につなげている。 |
| | 18 | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | 7 | | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | | | | リーダー、主任、訪問支援員が参加している。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 6 | 1 | | | 上司を中心に1人1人が動いて、気付いて行えている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 2 | 2 | | | 対象児童はいないが、受け入れをする場合は、連携を図っていきたい。 いないので、わからない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | 1 | | | 会議等で情報共有している。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 4 | 2 | | | 自分自身が経験していないので、分からない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 3 | 1 | | 研修は少ない。他の事業所に見学に行く等してみたい。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 1 | 2 | 3 | | あまりない。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 1 | 2 | 3 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 1 | | | 保護者様としっかり伝達、情報共有を送迎時等で行えている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 4 | 1 | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|---------------|-----|---------|--|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 1 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | | | | 1人1人の職員が責任感を持ち、行えている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 2 | 1 | 4 | | あまり保護者同士はない。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | | | すぐに周知し、改善できるよう努力している。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | 2 | | | 毎月の活動予定表を渡している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 7 | | | | 注意している。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | | | 出来ている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | | 4 | | あまりない。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 5 | 2 | | | 会議を行い、会議録を通して、情報共有出来ている。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | 1 | | 年2回のみ実施。 もう少し避難訓練は増やした方が良いと思う。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | | | | 毎月、会議を行い、職員間で話し合っている。 虐待防止研修が行えている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | | | | 制限をする際は事前に伝えている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | 1 | | | アレルギーの子がいない。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | | | | ヒヤリハット研修もあり、情報共有出来ている。 |

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|----|-----|---------|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | | | 個別支援あり、工夫されている。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 6 | 1 | | 急な児童の増員、職員の減員がない限りは、個別支援等、充実している。基本的に適切。足りない場合は管理者や上司が入ってくれる。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | 1 | | 視覚支援等をもう少し追加しても良いのではないかなと思う。 個室に名前がついている為、利用者自身がわかりやすくなるように作られていると思う。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 7 | | | 個室もあり個々のペースに合わせて活動部屋を移動している。 季節ごとに壁面や飾り付け等、工夫している。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | 1 | | 努力していると思う。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | | 保護者の意向等にすぐに動いていると感じる。もう少し事業所側も保護者に意見を持っても良いのではないかな。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 1 | | 確認していない為、自分自身もう少し勉強する必要があると感じた。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 3 | | 無記名でのアンケートbox等を設置し職員からも改善の案や困り等を収集してもよいのではないかなと思う。 話し合い、会議等で出来ていると思う。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | 1 | | 障害について対応等、先生を招いての勉強会があっても良いのではないかなと思う。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 7 | | | 上司と共に会議等で話し合いがよく出来ていると思う。繋がられている。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 7 | | | 目に見える形になっている。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 7 | | | それぞれの項目に沿って1つ1つ話し合いがされており、常に考えた上で支援の仕事が出来ている。具体的な話し合いが出来ている為、支援に繋がられている。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|--------|---|-----|---------|---|
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 7 | | 会議で話し合ったことを共有出来ている。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | 2 | 1人1人が納得しているかは分からない。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | 活動案を毎月提出し、担当者が作成している。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 7 | | 1人1人に合った支援計画が出来ていると思う。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | 毎朝、朝礼を行いその日の児童の伝達事項の申し送りを行なっている。 毎朝、朝礼が行われている。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 2 | もう少し情報共有をすることが大切。 職員同士で反省点、良かった点など言い合える雰囲気がある。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | 2 | 個別支援の入力をもう少し充実させたい。 個別支援計画をもとに活動の事等を振り返って見れるよう記入を行なっている。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | 会議が行われている。会議録で見ることが出来る。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | | リーダー、主任、訪問支援員を元に参加出来ていると思う。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 7 | | 行えていると思う。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 4 | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 4 | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | | 会議等、実施していて、情報共有したいことを会議録で知らせてくれている。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | | 訪問支援等で相互理解が出来るように努めていると思う。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 2 | 4 | 1人1人の知識アップをした方が質の良い支援に繋がると思う。 研修は少ないように感じる。他の事業所への見学等は行っていない。見学等はあって良いと思う。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------|---------|--|---|-----|---------|---------------------------------------|
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 1 | 4 | | 交流は少ないと思う。近くの園等ともう少し接することが増えればと思う。 |
| | 29 | (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 4 | | そのような会議には、あまり参加していない。機会があれば参加すべきだと思う。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | | | 保護者としつかり伝達、情報共有を送迎時等で行っている。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 6 | | | 行なえている。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | | 行なえていると思う。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7 | | | 同意を得た上で、支援を行なっている。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | | | 1人1人の職員が行えていると思う。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 2 | 5 | | 保護者同士というものはないかもしれない。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | | 職員間で連携して行っていると思う。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | | | 毎月の活動予定表を渡している。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 7 | | | しっかり注意している。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | | 出来ている。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 4 | | あまりない。 |
| | 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 4 | 2 | |
| 42 | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 1 | | 定期的ではない。年2回のみ。もう少し訓練は増やしても良いと思う。 |
| 43 | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 6 | | | 服薬依頼書と一緒にお薬の情報共有は出来ている。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----|--|----|-----|---------|------------------------------|
| 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 3 | | | |
| 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | | | ヒヤリハット研修で周知、再確認が出来ている。 |
| 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | | | 虐待防止研修を行い、再確認出来ている。 |
| 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 5 | | | 子どもへは、制限をする際、理由を伝えることが出来ている。 |

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2 保護者等数（児童数）9人回収数 10割合 88%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|----|--|----|---------------|-----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 8 | | | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 8 | | | | |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 1 | | | |
| 適切な支援の提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 8 | | | | |
| | 5 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 7 | 1 | | | 子どもの特性を把握してくれて、子どもの喜ぶ楽しい活動をしてきている。 毎月、色々なイベントや活動が計画されていて良い。 |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2 | 6 | | | |
| 保護者への説明等 | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 8 | | | | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 7 | | 1 | | |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | | | | 子育ての悩みや愚痴等、よく聞いて頂けている。 |
| | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | | 6 | | |
| | 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | | | | |
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 8 | | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---------|----|---|----|---------------|-----|-----|--|
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | | | | |
| | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 8 | | | | |
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 6 | 2 | | | |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 8 | | | | |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 8 | | | | 帰った後、家でその日の「えがお」であったことを自慢げに話してくれる。 |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 8 | | | | 季節の行事や園外活動等、いつも子ども達に良くして頂いて、ありがとうございます 家で出来ない事や、先生方からの集団中での行事等、教えてくれとても有難く思う。 |

○この「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2

保護者等数（児童数）8人 回収数6人割合 75%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-----------|-----|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 6 | | | | | 部屋も庭も十分に活動できるスペースがある。屋外活動も充実している。 |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 6 | | | | | 子どものことをよく把握してくれていて、安心して預けることが出来ている。配置数の問題もないと思う。OTやSTの職員も居る為、専門性も適切であると思う。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切に | 6 | | | | | 子どもにわかりやすく玩具など配置されていて、片付けも子どもが行いやすそうだと思う。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 6 | | | | | とても環境が整っている為、本人も大満足している。 子どもが活動しやすい空間で常に清潔感があり安心して預けることが出来る環境である。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 6 | | | | | モニタリングの際、話しやすい雰囲気である為、普段の生活や成長面で気になること等、細かく伝えることが出来ている。 |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5 | | | 1 | | 詳しい分類は分からないが、子どもの状態に合わせた支援が行われているとは思っている。 |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 6 | | | | | 子どもの成長に合わせた支援を計画し行なってきていると感じる。 |
| | 8 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 5 | 1 | | | | 毎日、通っているわけではない為、何とも言えない。毎月、その季節に合った活動等を取り入れてくれる為、ありがたいと思う。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 3 | | | 3 | | 保育園の普段の様子など知ってくれれば嬉しいと思う。 |
| | 10 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 6 | | | | | |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 6 | | | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|----|---|----|---------------|-----|-----------|-----|---|
| 保護者への説明等 | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 4 | | 1 | 1 | | 相談や質問をした際は、とても丁寧に答えてくださる為、心強い。 |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 6 | | | | | 活動内容を毎回細かく伝えてくださり、活動の写真もしっかり送ってもらえる為、状況がとても分かりやすく安心する。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 6 | | | | | |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 2 | | 3 | | 保護者同士の交流は今の所ないが、困ることはない。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 6 | | | | | 色々と相談にのって頂き、すぐに対応してくれ助かっている。 現在、困り事等はない為、相談していないが、もし相談したいことがあった場合は気軽に言える先生方の優しい雰囲気はしっかりある。 困りごとや相談した内容を職員の方へ伝えたと、どの職員も情報を共有してくれているなど感じる。とても安心して通所できるなど感じています。 |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 6 | | | | | |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 5 | | | | | 連絡ノートで毎月の行事予定等、知らせてくれる為、わかりやすい。連絡アプリでその日の活動内容と写真を送ってくれる。 |
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 6 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 5 | | | 1 | | |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 4 | | | 2 | | |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 6 | | | | | 毎日、楽しみにしている。 とても楽しみにしている。先生とお友達が大好き。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 6 | | | | | 沢山の経験をさせてもらい、子どもも毎日楽しかった様子で帰ってくる。とても満足している。 特性により個別に配慮してくれていて、良い所等、仕事の意識が高い職員が多いなどと思います。 |

○この「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。